

2020 岡山のインバウンド観光動向

ーコロナ禍の現状とアフターコロナに向けてー

【要旨】

I 全国・岡山の動向

- ・2020年の訪日外国人客数は新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の影響により前年比△87%、岡山県外国人延べ宿泊者数は前年比△85%と大幅減となった。岡山県内の国内居住者月別宿泊者数は、新型コロナの国内動向と同様の推移となっている。
- ・岡山県観光消費額単価（2019年）によると、訪日外国人宿泊客は日本人宿泊客より消費額が多く、訪日外国人の観光目的とビジネス目的では消費額に3倍の差があった。
- ・（公財）日本交通公社（以下、「JTBF」という。）の観光資源台帳によると、岡山が最高評価「S」に選ばれたのは1箇所であり、岡山単独でS評価資源はないとの評価であった。

II 外国人海外旅行経験者の意向調査

- ・全回答者の約9割が「新型コロナの流行が収束し、平常状態に戻ったとき、また海外観光旅行をしたい」と回答。検討再開のタイミングは、「抗ウイルス薬の開発など、新型コロナの脅威が消滅してから」、「渡航希望先の安全宣言後（入国制限・入国後の行動制限措置の解除を伴う）」など。
- ・観光したい国・地域では「日本」を挙げた人が約6割と最も多く、割合も上昇。訪日意欲は高い結果となった。
- ・「岡山」について、「知っている」と回答した人は12.6%（前年12.7%）、「行ってみたい」と回答した人は3.1%（前年3.8%）となっており、伸びしろも含め改善の余地がある。
- ・訪日希望者の求める宿泊施設については、アジア全体の7割が「温泉のある日本旅館」を、欧米豪全体の5割が「豪華で快適なホテル」を希望した。
- ・岡山訪問希望者が日本に訪れた時に体験したいこととして、「桜の観賞」、「紅葉の観賞」が、訪日希望者全体では「自然や風景の見物」、「桜の観賞」、「伝統的日本料理」が挙げられた。また、訪日希望者と岡山訪問希望者の訪問目的の割合を比較した時、岡山訪問希望者の方がどの項目も選択率が高い結果となった。
- ・新型コロナの流行が収束しても海外旅行をしたくない理由には、「旅行先での衛生面での配慮や、清潔・安全に不安」、「感染予防のため自粛したい」などが挙げられた。
- ・自粛時に行った日本に関する活動では、半数以上が「日本食を体験」と回答し、さらに体験した7割が「訪日意欲が高まった」と回答した。

III おわりに

- ・コロナ禍の現状、観光資源のハード・ソフトの両面から再認識し対応策を講じる必要性は増している。ハード面では、近隣の複数ある観光資源の一体感を持たせたストーリー提供や移動等の利便性向上、ソフト面では、国・地域ごとの嗜好を把握した、食べ物や日本酒、提供場所を各業種が連携してパッケージで紹介するような取り組みが考えられる。

目 次

I 全国・岡山の動向

1. 訪日外国人客数推移	1
2. 宿泊	2
3. 消費額	3
4. 訪日外国人訪問地・入国空港流動数	4
5. 岡山県の観光資源	5

II 外国人海外旅行経験者の意向調査

1. 調査の概要	6
2. アフターコロナ	7-8
3. 岡山の認知度・訪問意欲	9-10
4. 訪日旅行について	11-14

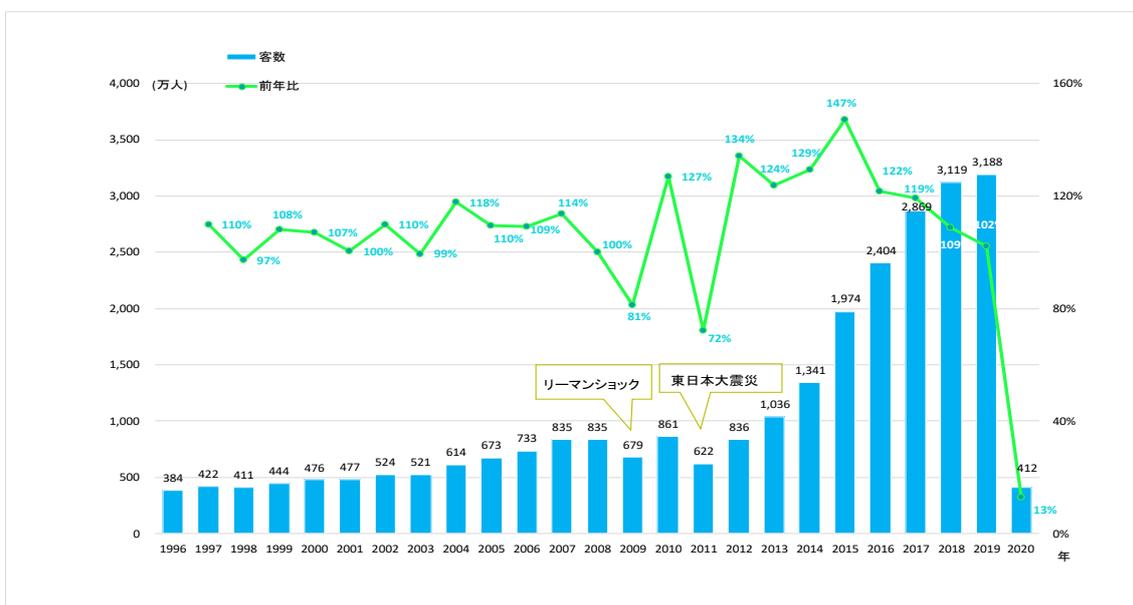
III おわりに	15-16
----------	-------

I 全国・岡山の動向

1. 訪日外国人客数推移

日本政府観光局（J N T O）の統計によると 2020 年に全国を訪れた訪日外国人客数は前年比△87%の 412 万人となった。本来であれば東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）が開催されていたはずの年ではあったが、新型コロナの影響により海外渡航は制限され、東京 2020 大会延期となった。日本政府は訪日外国人旅行客数 4000 万人を目標としていたものの、実際はその 10%に留まり、1990 年代後半の水準となった。

【図表 1】 訪日外国人客数の推移

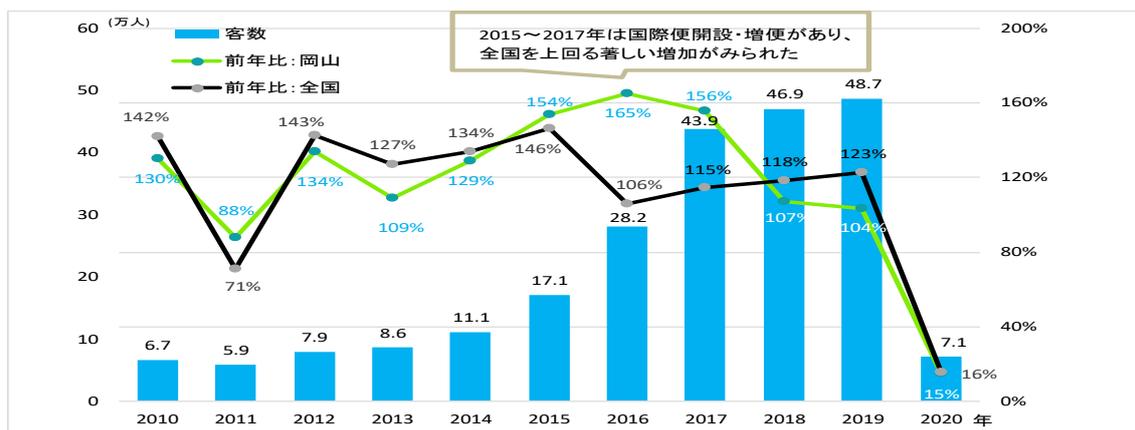


出所：J N T O 「訪日外客統計」

2. 宿泊

岡山県の外国人延べ宿泊者数は、東日本大震災の後 2012 年以降順調に増加しており 2018 年までは毎年前年比増であったが、2020 年は前年比△85%となり、2012 年の水準まで落ち込んだ。

【図表 2】岡山県の外国人延べ宿泊者数の推移

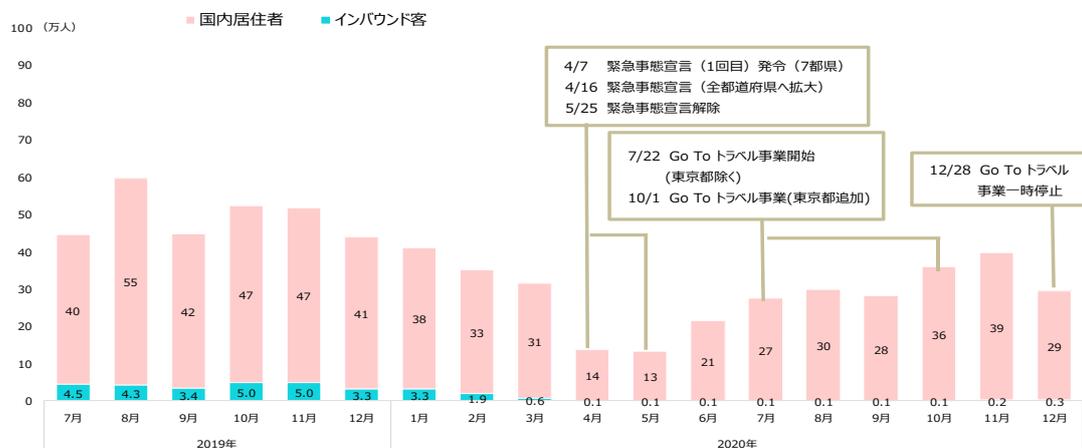


出所：観光庁「宿泊旅行統計」

岡山県内月別宿泊者数は、2020 年 4 月に緊急事態宣言発令の影響により減少した。緊急事態宣言の解除後や Go To トラベル事業により国内居住者の宿泊数は一旦増加したものの、12 月から新型コロナの再拡大の影響を受け減少している。

新型コロナ以前のインバウンド宿泊者数は月平均 4 万人で推移していた。しかし、新型コロナの影響を受けて減少し、Go To トラベル事業も渡航制限下のインバウンド客には効かず低水準が続いている。岡山県の国内居住者宿泊者数は、新型コロナの国内動向と同様の推移となっている。

【図表 3】新型コロナ前後の岡山県内延べ宿泊者数

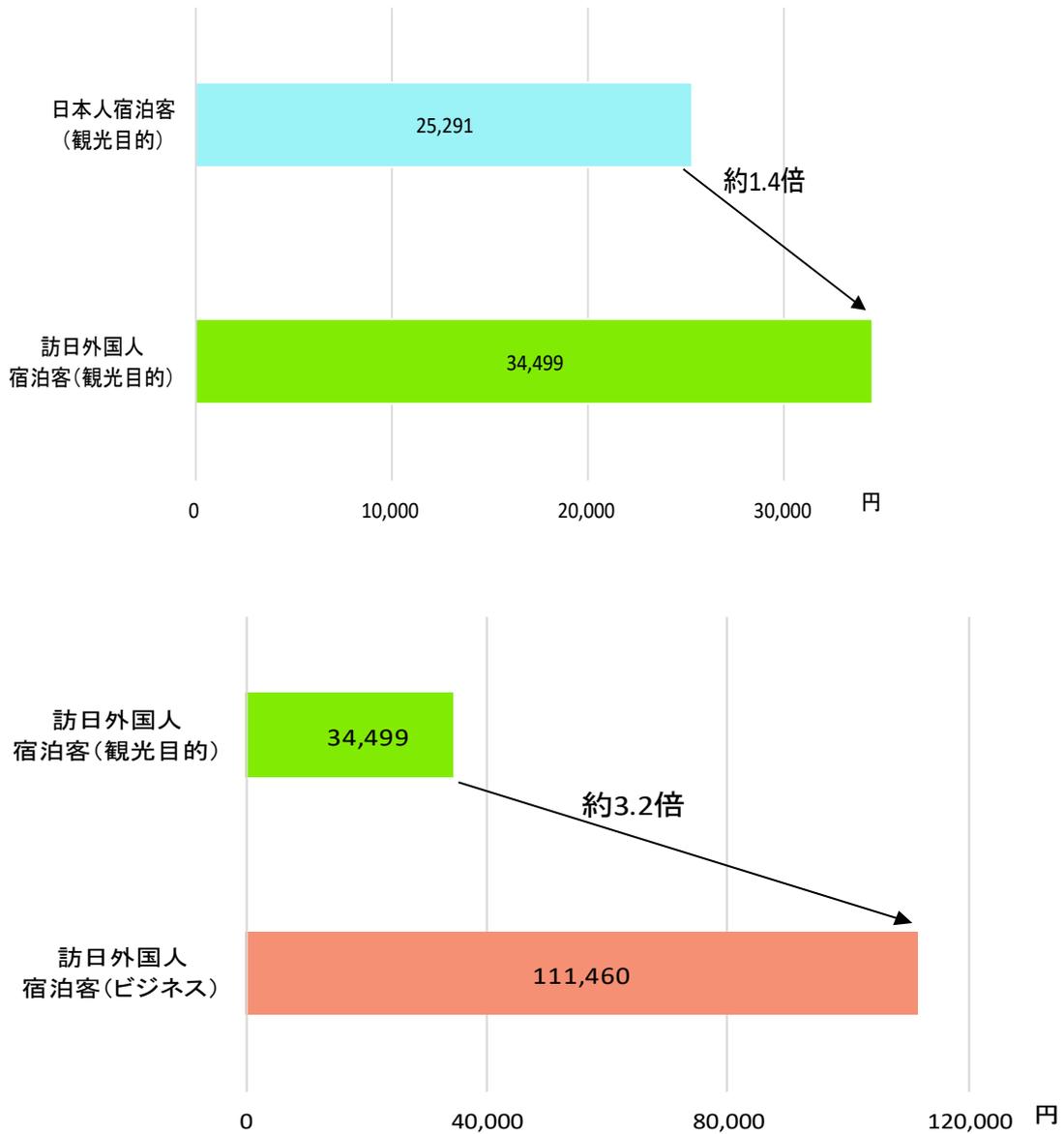


出所：観光庁「宿泊旅行統計」

3. 消費額

岡山県における宿泊客の観光消費額単価は、訪日外国人宿泊客が 34,499 円であり、日本人宿泊客（25,291 円）より消費額が多くなっている。また、同じ訪日外国人宿泊客でも、観光目的とビジネス目的では消費額に 3 倍もの差がある。

【図表 4】岡山県観光消費額単価（2019 年）



出所：観光庁「共通基準による観光入込客統計」

※3、4については2019年新型コロナ前のデータとなる

4. 訪日外国人訪問地・入国空港流動数

訪日外国人の国内の出発地とその後の訪問地への動向について岡山を中心に検証すると、岡山を出発地とした人は主に大阪、広島を目的とした人が多い。また、岡山を目的地とした人も同様に大阪、広島を出発地とした人が多い。しかし、大阪⇄広島の各々を目的地、出発地とする人はさらに多く、岡山が通過地点となっている事実が窺えることから、第二の目的地となるような誘客活動の必要性が再確認される。

入国空港からの流動数の観点では、岡山を目的地とした場合、入国空港は岡山空港利用が5割強、関西国際空港利用が2割強であった。岡山を入国空港とした人は、他の地域を目的地とする人が少なく、長期日程で他の訪問地に行こうと考える旅行者に岡山空港が利用されていないと推測される。

【図表5】国内訪問地・入国空港流動数（2019年）

(千人/年)

		国内訪問地(目的地)															訪問地計	
		東京	石川	愛知	京都	大阪	兵庫	奈良	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛		福岡
国内訪問地 (出発地)	東京	2,041.7	63.3	263.6	969.4	770.6	34.7	52.6	3.3	1.7	9.0	85.2	3.3	2.2	9.9	3.6	33.8	6,595.4
	愛知	194.6	31.2	87.2	262.4	242.4	13.9	65.4	0.3	0.3	2.7	10.9	0.6	0.4	0.7	0.7	8.9	1,453.5
	京都	689.5	55.9	220.7	1,070.0	1,880.4	472.6	1,754.5	6.1	2.1	18.0	205.2	2.4	2.6	18.3	3.3	18.8	6,150.6
	大阪	607.0	25.1	205.6	3,749.2	299.6	454.5	1,007.3	11.9	4.6	35.0	146.6	3.1	10.9	20.8	4.8	29.3	6,886.0
	兵庫	55.1	4.0	18.1	223.5	294.6	99.1	150.5	6.6	1.4	20.3	36.3	0.8	6.3	13.3	3.6	5.4	933.2
	奈良	130.7	7.4	89.7	494.0	641.4	265.5	3.2	1.8	0.1	3.6	36.0	0.3	0.4	1.7	0.2	2.8	1,972.9
	和歌山	14.7	1.7	5.2	40.2	74.8	12.1	18.8	1.7		2.1	10.6		1.1	3.9	0.4	0.4	223.7
	鳥取	4.6	0.4	0.8	5.2	12.0	4.9	0.4	48.6	24.4	13.0	5.2	0.7	0.1	1.1	1.3	1.1	79.4
	島根	2.9		0.2	2.8	5.9	1.0	1.0	19.1	6.8	5.2	9.4	1.2	0.3	0.6	0.3	1.5	54.2
	岡山	8.5	2.1	2.5	18.5	34.3	21.8	2.9	15.8	4.5	30.7	36.7	2.2	3.6	29.4	4.9	5.1	209.0
	広島	101.8	9.7	12.4	114.5	148.7	36.5	22.0	4.3	8.4	40.6	125.9	16.5	3.1	10.9	19.2	57.4	727.9
	山口	2.7	0.2	0.6	1.1	2.5	1.3	0.1	0.7	1.9	1.0	12.3	36.2	0.1	0.1	0.4	67.6	115.7
	徳島	1.1		0.3	1.9	8.1	5.9	0.4	0.3	0.3	5.8	2.4	0.3	8.7	25.7	9.8	0.6	80.7
	香川	10.3	1.6	1.4	12.5	25.3	13.2	2.2	2.0	0.8	25.5	12.9	0.2	32.7	197.5	32.2	1.8	197.3
	愛媛	4.4	0.4	1.2	2.7	7.1	3.3	0.3	0.2	0.4	9.0	18.8	0.2	9.7	21.6	28.2	3.3	100.6
	福岡	33.0	1.5	7.4	14.2	32.9	4.5	0.8	0.8	1.0	8.0	52.4	70.9	1.1	1.5	1.9	101.5	1,217.6
		訪問地計	5,022.2	500.0	1,632.3	6,653.1	4,765.7	1,417.0	3,168.6	81.3	53.6	213.5	790.9	128.1	84.9	175.7	110.1	1,108.0

(注) 岡山との間で2千人以上の流動がある県のみ表示

(千人/年)

		国内訪問地(目的地)									訪問地計
		東京	京都	大阪	兵庫	鳥取	島根	岡山	広島	香川	
入国空港	成田(空港)	6,443.8	97.4	132.4	8.8	1.8	0.4	2.6	16.6	2.2	8,688.6
	関西(空港)	94.8	1,402.2	5,996.2	306.1	8.4	2.7	24.0	22.7	17.9	8,316.0
	中部(空港)	57.6	54.8	119.8	2.6		0.1	0.2	1.0	0.1	1,572.7
	羽田(空港)	3,318.4	41.6	60.0	6.0	1.9	1.5	4.1	14.4	2.4	4,294.9
	米子(空港)					27.6	4.8	0.8	0.2		34.3
	岡山(空港)	0.1	0.2	0.3	1.2	2.5	1.7	54.3	3.7	6.6	70.6
	広島(空港)	0.4	0.4	0.9	0.3	0.5	0.4	3.1	60.3	0.6	69.6
	高松(空港)		0.5	0.9	0.2	0.2		3.1	0.5	112.0	127.5
	福岡(空港)	3.2	1.0	2.5	0.5	0.3	0.3	2.0	17.7		2,105.4
	北九州(空港)							0.2	1.9		108.2
不明	105.2	13.0	38.4	11.3	0.9	0.9	3.3	4.4	1.1	1,082.5	
	計	10,085.8	1,612.6	6,357.9	339.0	49.7	15.5	97.7	146.9	143.0	30,960.5

(注) 岡山(含:岡山空港)との間で流動がある県(含:空港)のみ表示

出所:国土交通省「FF-Date(訪日外国人流動データ)」

5. 岡山県の観光資源

J T B Fの観光資源台帳によると、岡山が最高評価「S」に選ばれたのは、「広島・岡山・香川：瀬戸内海の多島景観」だけであり岡山単独でS評価とされた資源はない。A評価になると7カ所になる。

【図表6】

(2017年7月時点)

都道府県	市町村名	資源名称	ランク
広島・岡山・香川	広島市/倉敷市/今治市/他	瀬戸内海の多島景観	S
岡山	岡山市	吉備津神社	A
岡山	岡山市	後楽園	A
岡山	岡山市	会陽（裸祭り）	A
岡山	倉敷市	倉敷川畔の街並み	A
岡山	倉敷市	大原美術館	A
香川・岡山	倉敷市/坂出市	瀬戸大橋	A
岡山	備前市	閑谷学校跡	A
岡山	岡山市	最上稲荷（通称：高松稲荷）	B
岡山	岡山市	曹源寺	B
岡山	岡山市	岡山城	B
岡山	岡山市	吉備津の門前町	B
岡山	岡山市	西川緑道	B
岡山	岡山市	ままかり寿司	B
岡山	岡山市	吉備津彦神社	B
岡山	岡山/総社市	吉備路風土記の丘	B

(注) ランクBは岡山市のみ表示

出所：JTBF「観光資源台帳」

Ⅱ 外国人海外旅行経験者の意向調査

1. 調査の概要

当行では、J T B F と共同で、2020 年 12 月 1～12 日にかけてアジア（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）および欧米豪（イギリス、フランス、アメリカ、オーストラリア）に居住する海外旅行経験者を対象としたアンケート調査を実施している。

本アンケートの調査要領は以下のとおりである。

調査方法

インターネットによる調査

調査時期

2020 年 12 月 1 日～12 日

調査地域

韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの 12 地域

（注）中国は北京および上海在住者のみ

調査対象者

20～59 歳の男女、かつ、海外旅行経験者

（注）中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く

有効回答者数

上記各国・地域に居住する住民計 6,139 人

（注）中国は北京および上海在住者のみ（割合は北京 50%、上海 50%）

有効回答者のうち訪日経験者数は 2,885 人である

協力実査会社

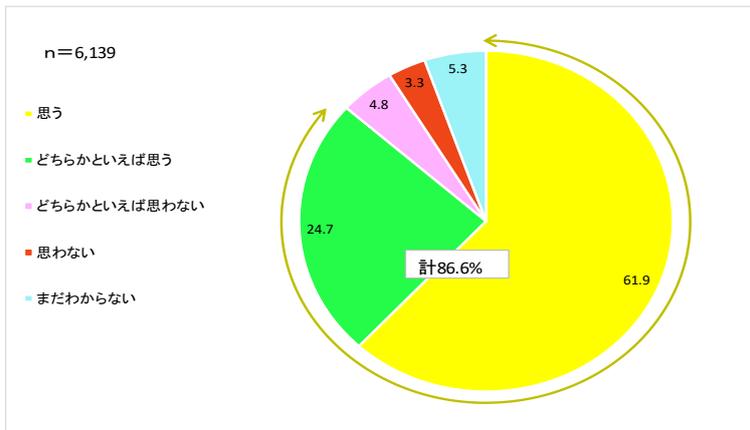
楽天インサイト株式会社

2. アフターコロナ

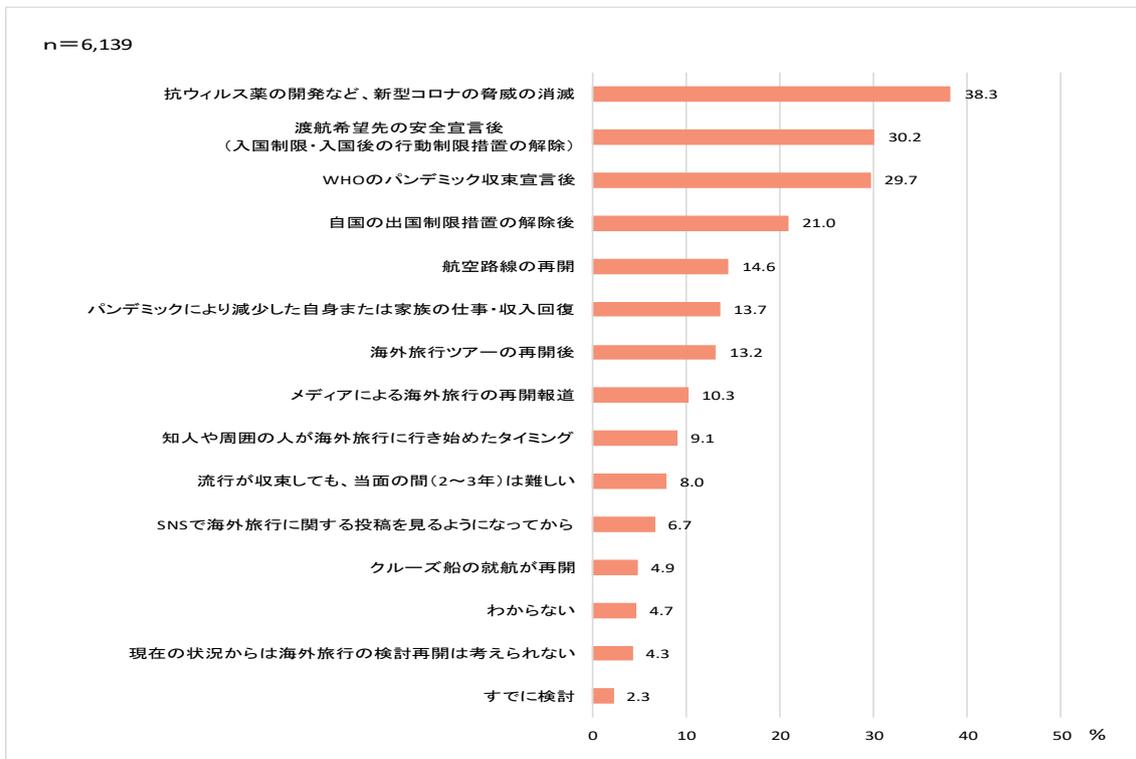
新型コロナの収束後、再び海外観光旅行をしたいと「思う」、「どちらかといえば思う」の合計は86.6%。約9割が海外観光旅行を希望している。その一方で、海外旅行経験者の中でも8.1%が海外旅行をしたいと「思わない」、「どちらかといえば思わない」と回答した。

海外旅行検討再開のタイミングは「抗ウイルス薬の開発など、新型コロナの脅威の消滅」、「渡航希望先の安全宣言後」などが挙げられた。

【図表7】新型コロナの流行が収束したら海外観光旅行をしたいか



【図表8】海外旅行検討再開のタイミング



今後行きたい旅行先について、回答者全体では日本がトップとなり約6割となった。昨年と比べて日本は割合が増えている反面、他の国・地域のほとんどは希望割合が減っていることは興味深い。

国・地域別にみると、香港で83.4%、タイで77.5%の人が日本観光を希望している。

【図表9】観光したい国・地域

(単位:%)

回答者→	全体		中国		台湾		香港		韓国		タイ		インドネシア		マレーシア		シンガポール		
	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	
↓旅行したい国																			
n	6,276	5,692	527	493	508	461	492	459	523	487	514	471	519	504	527	477	524	487	
日本	49.4	57.3	54.5	72.4	70.7	74.6	72.8	83.4	29.6	34.7	49.4	77.5	51.3	68.3	55.2	64.4	56.3	65.3	
韓国	30.3	31.6	27.9	34.7	41.1	33.4	45.5	41.0	—	—	28.8	48.2	38.0	48.6	45.4	45.3	42.4	43.1	
オーストラリア	40.5	26.9	38.5	16.8	33.5	17.6	46.7	25.1	43.2	26.9	19.8	18.0	36.0	28.4	46.7	36.5	42.7	38.4	
ニュージーランド	38.6	22.1	35.7	24.5	35.6	21.9	39.0	13.7	40.3	24.2	21.2	21.4	29.5	18.7	46.5	37.9	48.5	35.1	
台湾	22.0	21.5	25.0	14.4	—	—	53.7	56.2	24.1	20.5	17.1	25.1	14.6	10.3	29.8	34.8	36.1	48.9	
タイ	28.2	21.3	28.1	31.4	28.9	20.8	40.4	35.7	18.9	13.6	—	—	20.4	21.6	—	—	33.2	32.9	
シンガポール	25.2	18.9	31.5	27.6	28.7	15.0	36.6	17.2	29.1	19.1	21.2	29.3	25.6	40.3	—	—	—	—	
アメリカ	31.3	18.9	30.0	9.9	28.1	20.2	21.5	10.2	31.9	17.2	12.5	7.9	20.0	14.1	22.4	10.1	37.6	12.3	
スイス	30.0	15.8	28.5	16.6	27.8	20.2	29.7	13.3	40.0	23.6	17.5	23.8	21.8	17.3	33.4	21.8	40.1	17.0	
イギリス	29.2	15.0	29.6	10.5	20.7	15.2	29.5	16.6	30.0	16.0	17.5	16.6	23.9	17.3	28.3	14.0	34.7	12.3	

回答者→	イギリス		アメリカ		フランス		オーストラリア	
	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020
↓旅行したい国								
n	535	479	532	448	537	464	538	462
日本	39.3	35.7	33.8	30.6	39.7	40.3	42.8	38.7
韓国	17.0	13.2	15.8	12.1	15.1	11.6	19.1	14.1
オーストラリア	47.9	30.1	45.5	29.9	44.3	27.6	—	—
ニュージーランド	46.7	26.3	35.9	22.3	37.2	17.7	—	—
台湾	11.2	5.2	11.5	8.3	8.4	5.2	13.0	7.6
タイ	33.5	20.0	23.3	17.2	30.7	22.0	26.8	19.0
シンガポール	29.0	14.4	16.9	12.5	13.6	9.1	27.5	21.0
アメリカ	52.5	39.9	—	—	38.2	39.7	46.8	27.1
スイス	31.0	0.0	35.0	18.5	—	—	37.2	17.1
イギリス	—	—	39.3	24.3	—	—	43.1	23.2

(注) 旅行したい国は33の選択肢のうち、回答の多い上位10国・地域を並べたもの

全体、各国・地域上位2国・地域を黄色でめりつぶしている

観光したい国・地域と回答者の国・地域が同じ場合の回答はサンプルから除いている

3. 岡山の認知度・訪問意欲

岡山の認知度を国・地域別にみると、岡山を知っていると回答した人は全体で12.6% (775人)。これは中国地方では広島の35.1% (2,157人) に次ぐ割合となっている。岡山への認知度が高い地域は台湾34.8%、香港25.9%であった。

昨年と比較すると、岡山の認知度は全体で0.1%減とほぼ横這いとなった。

上記の状況である一方、岡山の認知度は水準として決して高いとは言えず、伸びしろも含め改善の余地があることが窺える。

【図表 10】 認知度

(単位:%)

	全体	アジア全体									欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール						
n	6,139	4,127	537	500	499	531	516	521	509	514	2,012	506	503	496	507
岡山	12.6	15.4	13.0	34.8	25.9	10.9	9.9	10.2	9.6	9.9	7.0	8.5	5.6	6.3	7.5
広島	35.1	37.7	32.2	53.0	42.3	41.2	35.7	29.8	33.8	34.0	30.0	36.8	24.7	26.0	32.3
山口	10.1	12.1	9.5	12.2	11.2	15.8	11.8	12.9	10.6	12.6	5.9	6.7	5.6	4.4	6.9
鳥取	10.8	14.8	9.5	34.0	28.7	28.4	6.4	2.5	3.1	6.4	2.6	1.4	3.2	3.0	3.0
松江/出雲/石見	5.3	6.7	11.7	14.2	9.6	3.8	6.2	2.3	2.4	3.7	2.5	2.4	2.8	2.0	2.8
高松/香川	7.4	9.2	11.4	19.6	16.4	5.5	5.6	5.4	4.9	5.4	3.7	5.1	2.8	3.0	3.9
(参考)大阪	52.5	62.3	53.8	80.0	69.9	66.3	54.1	48.8	63.7	63.4	32.2	32.4	23.3	33.3	39.8
(参考)東京	59.4	65.7	55.1	78.2	71.1	67.6	63.4	55.9	68.6	66.5	46.5	49.0	41.4	43.5	52.1

(注) 上位2観光地を黄色で塗りつぶしている

〈参考〉 2019年調査

(単位:%)

	全体	アジア全体									欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール						
n	6,276	4,134	527	508	492	523	514	519	527	524	2,142	535	532	537	538
岡山	12.7	15.4	10.4	31.5	30.7	11.3	8.6	9.4	11.2	11.1	7.7	6.9	7.0	7.1	9.9
広島	37.5	37.9	34.3	46.9	48.2	42.6	33.5	31.4	32.4	34.5	36.7	38.3	32.7	32.2	43.5
山口	10.3	12.1	9.5	8.9	13.8	17.2	12.8	12.1	10.4	12.2	6.8	6.5	8.1	5.0	7.6
鳥取	9.9	14.0	7.8	27.8	31.7	28.3	5.4	2.5	4.2	5.5	1.9	0.7	1.5	3.0	2.4
松江/出雲/石見	4.7	6.0	9.9	12.2	10.0	3.3	6.4	1.2	3.8	1.3	2.2	0.9	2.4	3.5	1.9
高松/香川	7.0	8.4	8.9	15.0	19.1	6.5	4.9	4.0	4.9	4.6	4.2	3.6	4.1	3.5	5.6
(参考)大阪	53.9	62.1	60.0	74.8	75.8	68.1	52.9	47.4	59.2	59.5	38.0	35.3	29.1	37.1	50.2
(参考)東京	62.1	66.3	63.9	73.8	75.0	69.6	61.3	58.6	65.1	63.4	54.0	55.5	48.7	47.7	64.1

(注) 上位2観光地を黄色で塗りつぶしている

訪問意欲については、岡山を訪問したいと回答した人は全体で 3.1%（176 人）、アジア全体で 3.3%、欧米豪全体で 2.5%となっている。これは、岡山を認知する人のうち、訪問意欲がある人は全体で 22.7%、アジア全体で 20.9%、欧米豪全体で 30.7%となった。結果として、認知する 2 割程度の人しか岡山訪問を希望しないことを示している。

鳥取への訪問意欲を見ると、香港・韓国・シンガポールは岡山への数値より高く、特に韓国からの訪問意欲は広島よりも高い。これは、韓国 LCC の充実や「1000 円タクシー¹」など、官民一体の取り組みが奏功した成果とも考えられる。

【図表 11】 訪問意欲

(単位:%)

	全体	アジア全体									欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール						
n	5,726	3,985	536	491	489	509	507	482	484	487	1,741	443	441	404	453
岡山	3.1	3.3	3.0	6.7	5.3	1.6	3.0	3.3	2.1	1.8	2.5	3.6	1.8	2.0	2.4
広島	10.1	9.4	8.0	11.0	8.4	3.7	12.6	11.6	10.3	9.7	11.9	15.8	8.6	9.4	13.5
山口	2.2	2.5	2.8	1.4	1.6	2.2	3.6	3.7	1.9	2.5	1.6	1.8	0.9	1.2	2.2
鳥取	2.4	3.2	2.1	4.5	6.5	6.3	2.0	0.2	0.8	2.9	0.8	0.0	1.1	2.0	0.2
松江/出雲/石見	1.4	1.7	2.1	3.1	2.5	1.0	2.4	0.8	0.4	1.2	0.7	0.7	0.7	0.5	1.1
高松/香川	1.9	2.2	2.8	3.3	5.1	0.8	1.8	1.2	0.8	1.4	1.4	1.6	1.1	1.5	1.3
(参考)大阪	29.1	34.0	26.5	42.2	34.2	25.1	32.0	33.6	37.8	41.5	18.2	17.2	14.1	19.3	22.1
(参考)東京	40.6	41.6	35.4	42.2	38.9	31.8	46.0	45.9	46.7	46.6	38.3	40.0	32.7	39.1	41.5

(注) 上位 2 観光地を黄色で塗りつぶしている

〈参考〉 2019 年調査

(単位:%)

	全体	アジア全体									欧米豪全体	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール						
n	5,747	3,951	524	496	488	494	498	477	493	481	1,796	449	445	424	478
岡山	3.8	4.3	2.1	7.1	9.8	2.0	2.8	3.6	2.8	4.2	2.6	2.2	2.9	4.0	1.5
広島	12.2	9.6	7.6	10.5	11.9	5.7	10.2	11.1	8.3	11.9	17.8	16.3	15.7	14.4	24.1
山口	2.5	2.9	1.9	1.4	2.9	2.8	4.8	4.6	3.2	1.9	1.7	2.0	3.1	1.2	0.4
鳥取	2.5	3.4	1.0	5.0	8.6	6.7	1.6	0.6	0.8	2.7	0.6	0.2	0.0	1.4	0.6
松江/出雲/石見	1.2	1.3	2.5	3.2	1.0	0.4	1.6	0.2	1.2	0.2	0.8	0.4	0.7	2.1	0.2
高松/香川	1.7	1.9	1.9	3.4	4.7	1.0	0.8	1.0	1.0	1.5	1.3	2.0	0.9	1.7	0.8
(参考)大阪	32.6	36.8	35.1	39.7	40.6	32.0	32.3	36.9	38.5	39.1	23.6	18.7	17.5	25.2	32.4
(参考)東京	44.1	41.2	41.2	38.5	39.1	37.0	39.0	50.3	44.4	40.3	50.3	52.3	45.6	47.2	55.6

(注) 上位 2 観光地を黄色で塗りつぶしている

¹ 鳥取市および近隣の観光スポットをタクシーで周遊。10 コースの中から選択し通常 3 時間約 15,000 円程度かかる乗車料を鳥取県・鳥取市・タクシー会社それぞれが負担し、利用者は 1,000 円で利用できる。

4. 訪日旅行について

訪日旅行の際に宿泊する施設について、「温泉のある日本旅館」、「豪華で快適なホテル（西洋式）」を希望している人が多く、宿泊施設も旅の一部として考えている人がいる。その一方で、次に挙げられたのは「基本的な設備のみが備わっているホテル（西洋式）」となっており、宿泊が出来れば十分と割り切った人も一定数いる。

地域別では欧米豪全体になると「豪華で快適なホテル（西洋式）」を多く希望している。

【図表 12】 宿泊希望施設

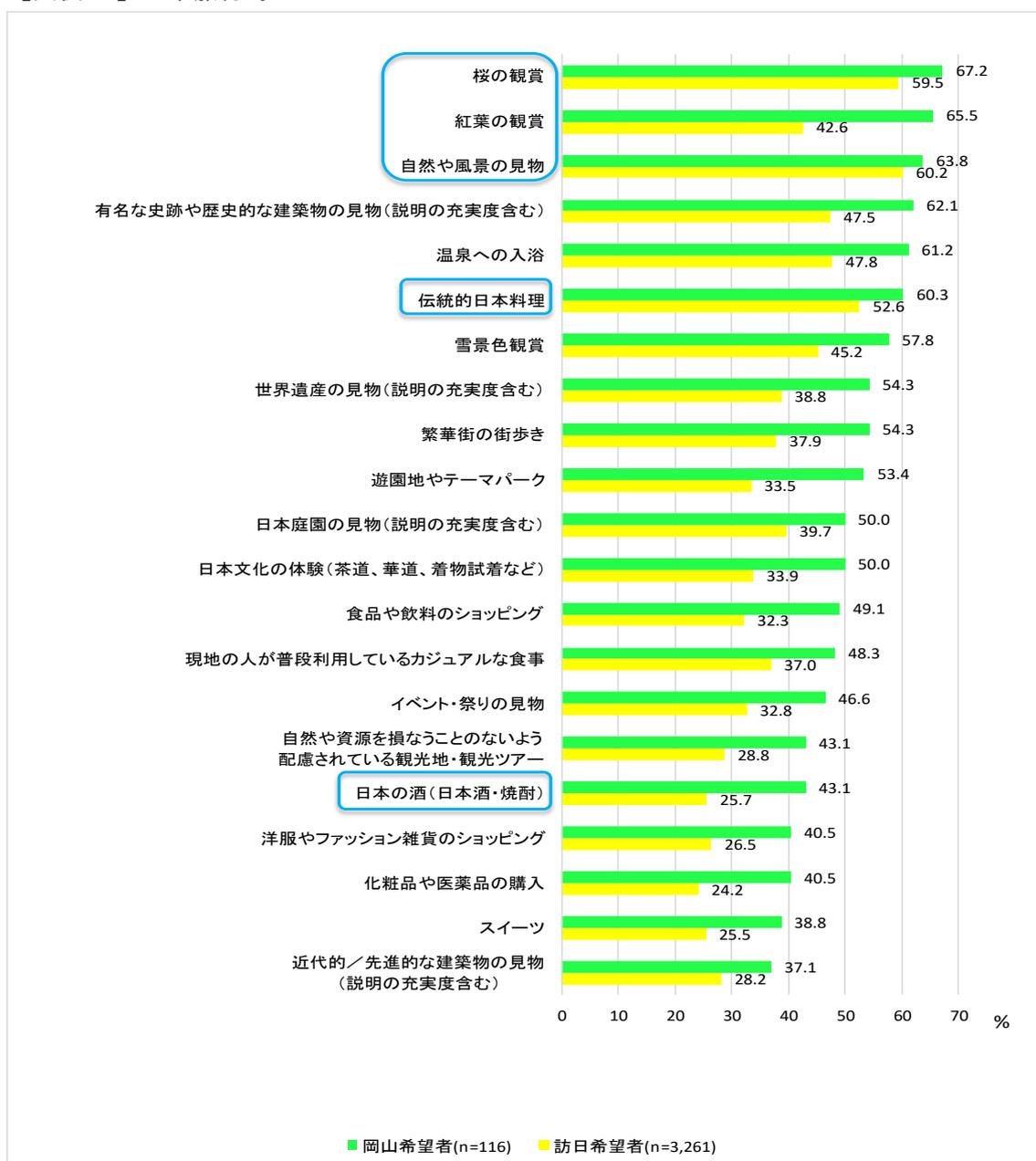
(単位:%)

	全体														
	アジア全体	アジア									欧米豪全体	欧米豪			
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス		アメリカ	フランス	オーストラリア	
n	3,261	2,587	357	344	383	169	365	344	307	318	674	171	137	187	179
温泉のある日本旅館	63.9	69.7	80.1	74.1	68.7	61.5	67.7	75.6	63.2	61.0	41.8	37.4	45.3	42.8	42.5
日本旅館(温泉なし)	24.4	24.2	28.6	27.3	33.4	21.3	21.4	19.5	20.8	17.6	25.4	22.8	29.2	26.2	24.0
豪華で快適なホテル(西洋式)	38.7	35.9	45.4	47.7	37.9	53.8	33.7	18.9	21.8	35.2	49.4	59.6	48.2	39.6	50.8
基本的な設備のみが備わっているホテル(西洋式)	34.8	34.4	16.0	32.3	36.0	35.5	44.4	27.0	41.0	44.7	36.4	29.2	38.7	38.0	39.7
ユースホステル・ゲストハウス	16.1	17.1	12.6	12.2	10.2	18.9	22.7	24.1	26.1	12.3	12.2	5.3	13.1	18.7	11.2
現地の人から有料で借りる家・アパート	20.6	21.8	13.7	11.3	14.6	12.4	23.8	31.4	37.5	27.7	16.0	10.5	22.6	20.9	11.2
親戚・知人宅	3.0	3.4	0.6	2.3	1.6	3.6	3.8	9.6	4.6	1.6	1.5	1.2	0.7	2.1	1.7
その他	0.2	0.2	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.6	0.6	0.0	0.0	1.7

訪日目的については、主に自然に関する興味が高く「桜」、「紅葉」など日本特有の四季に関心を持ち、岡山訪問希望者は訪日希望者全体より全項目で関心が高い結果となった。このことから、岡山訪問希望者は色々なことに興味を持ち、そして多くの体験を求めていることが推測されるとともに、岡山でも現状で提供可能な素地を持っている。

また、訪日希望者全体で半数近くが「伝統的日本料理」を挙げている一方「日本の酒」は3割にも満たない結果となった。

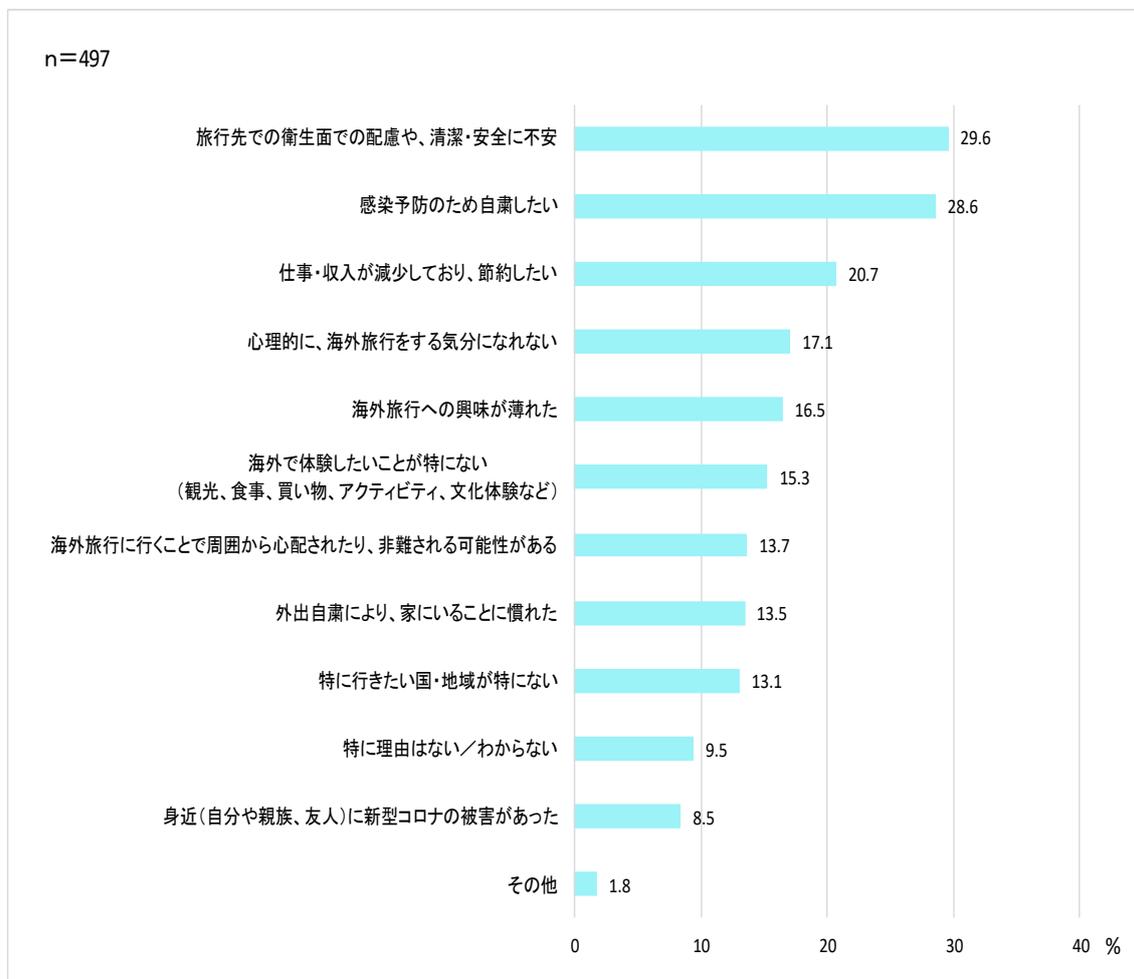
【図表 13】 日本旅行時にしたいこと



(注) 35 の選択肢のうち、回答の多い各上位 20 項目を並べたものである

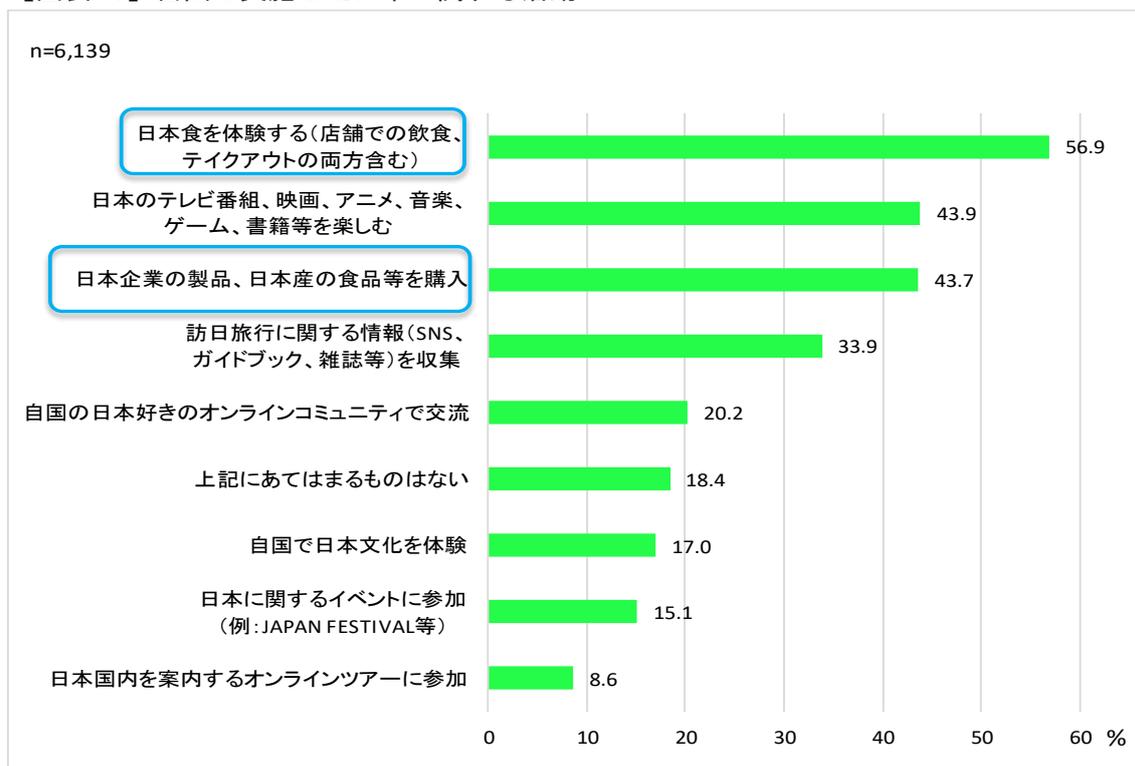
新型コロナが収束しても海外旅行をしたいと「思わない」、「どちらかといえば思わない」と回答した対象者は、「旅行先での衛生面での配慮や、清潔・安全に不安」、「感染予防のため自粛したい」などの理由で海外旅行に消極的になっている。

【図表 14】 海外旅行をしたくない理由

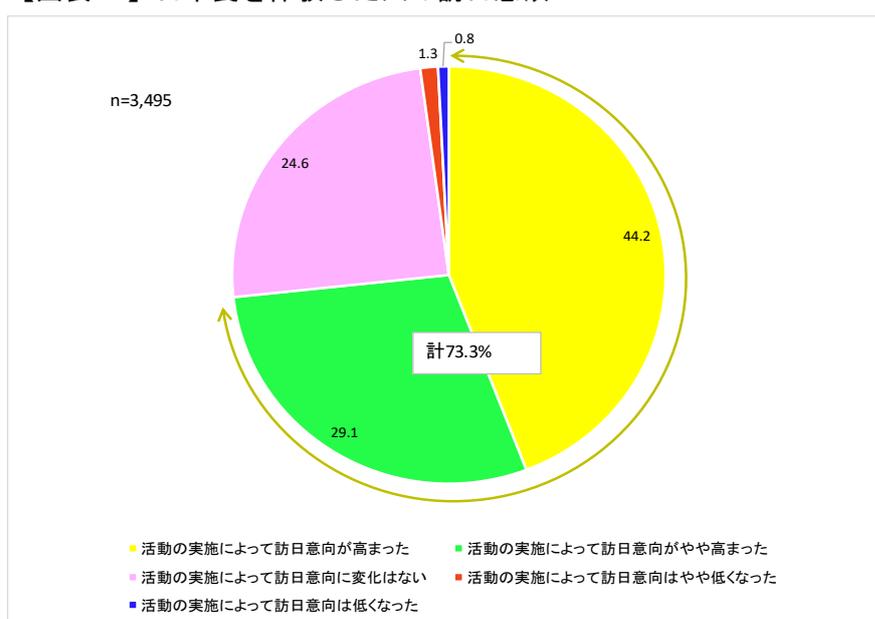


今年（2020年）自国で実施した日本に関する活動について質問したところ、「日本食を体験する」、「日本企業の製品、日本産の食品等を購入」と答えた人が5割前後となり、多くの人々が日本食を体験した。また、日本食を体験した人のうち「訪日意欲が高まった」、「訪日意欲がやや高まった」と回答した人の合計は7割になった。

【図表 15】自国で実施した日本に関する活動



【図表 16】日本食を体験した人の訪日意欲



Ⅲおわりに

インバウンド観光客数は東日本大震災後の2012年以降増加基調にあったものの、新型コロナの影響により2020年の岡山県内の観光客数は大幅減少の已む無きに至り、観光産業のみならず地域経済は大きなダメージを受けている。従前の水準に復するには相当程度の期間を要することが見込まれるものの、中長期的な視点ではインバウンド観光が地域経済にとって重要な要素であることは変わらない。従って、このような現状だからこそ、アフターコロナの状況に至る且つ改めてインバウンド観光意欲が改善する場合に備え、インバウンド獲得戦略の企画・実行に腰を据え取り組む好機と考えられる。具体的には、インバウンド観光客（訪日希望者）の目的地の1つに「岡山」が選択されるに至る取り組みである。

渡航制限により、インバウンド観光客の来日・来岡は無論、インバウンド観光客誘致等のため海外に出向くことも出来ない現状に何ができるのか。この観点を踏まえ、訪問意欲・満足度向上に繋がる取り組みについて検討したい。

1点目としては、岡山県内の「観光資源のハード面の強化・連携」が挙げられる。観光資源台帳（図6参照）を前提とすれば、例えばB評価をA評価に引き上げる方策である。倉敷美観地区（倉敷市）におけるA評価の「倉敷川畔の街並み」・「大原美術館」のような一体感且つストーリーある観光資源を参考にすれば、岡山後楽園・岡山城地区（岡山市）においてA評価の「後楽園」と近接するB評価の「岡山城」をA評価に如何に引き上げるか、といった取り組みが考えられる。この観点では、2021年6月より大規模改修工事に入った「岡山城（来年11月リニューアルオープン予定）」が観光資源としての魅力をいかに増すか期待が高まる。同エリア内では、観光資源台帳では評価対象外ではあるが、桜の名所の旭川（日本旅行時にしたいことにおいて（図表13参照）「桜の観賞」は最高位）や「岡山県立美術館」・「岡山市立オリエント美術館」・「夢二郷土美術館」もある。観光資源の各機能を対象地域に存在する各々が分散して担うイタリア発祥の取り組みであり地域創生手法でもある「アルベルゴ・ディフーズ」は、全国に先駆けて岡山県内において取り組まれる（矢掛町）または検討が進む（岡山市東区西大寺地区）。この取り組みを参考として、評価の高い観光資源と近隣の観光資源（底上げも含む）を組み合わせた一体感・集合体としてのストーリーを提供できれば一層の効果が期待できる。このストーリーという観点では特に欧米人が好む「歴史」を組み合わせることも有用であろう。なお、今次の岡山城改修のようにハード面の整備には時間・コストを要するため、中長期的な視点での計画は必須となる。また、各観光資源間の移動等の利便性も重要である。移動の仕方、乗り換えの待ち時間の提示、周辺のお店紹介等の点ではなく面を意識した情報提供によりインバウンド観光客にとっての利便性・快適性の向上も必要と考えられる。

2点目としては、「観光資源のソフト面の強化・連携」が挙げられる。自宅で過ごす時間が増える現状、食事の楽しみ・大切さが再認識されたはずである。また、多くの訪日旅行希望者は日本旅行時に「伝統的日本料理」を希望している（図表 13 参照）。これらの観点を踏まえれば、ソフト面では例えば「日本（岡山）食」と「日本酒」の各々の強化・連携が考えられる。昨年、ミシュランガイドブックに岡山県が初めて対象地域となり、日本食に限らず所謂星取りレストランが多数掲載された（同英語版サイトにも掲載）。結果として、岡山県産の食材・料理及び提供場所について知りうる機会の向上に繋がったと考えられる。一方、伝統的な日本料理に合う「日本酒」については、その日本（岡山）食との連携を含めた取り組みの強化に期待が高まる。岡山には酒造好適米「雄町」の日本酒がある。現在主流の「山田錦」の親品種であり、栽培は難しいものの多彩な味の表現が可能と言われ県内外で注目を集めている。このような岡山産日本酒のブランディング強化に加え、日本（岡山）食との相乗効果を、いかに高めていくか。新型コロナ禍の自粛期間中、岡山県内の飲食店と日本酒製造元が協力して、岡山の日本酒・それに合うつまみを動画サイトで配信した事例が見受けられた。このような取り組みを、より面的に企画・展開する仕掛けが求められると考えられる。食べ物の紹介に留まらず国・地域ごとの嗜好を把握し、岡山県産の食材を使った料理、その料理に合うお酒及び提供場所もパッケージとして紹介するものである。なお、1点目のハード面との比較では、これらの取り組みは時間・コストは少なく済むと想定されるものの、地域内での業種横断的な密な連携がより求められると考えられる。

以上のように、地域内の観光資源を、ハード・ソフトの両面から再認識すると共に、インバウンド観光客が期待するニーズを理解した上で各々の対応策を講じる必要性は増していると考えられる。新型コロナ禍の現状を好機として、アフターコロナを見据えたインバウンド観光戦略の綿密な企画・実行の準備に従来の垣根を越え取り組むことが期待される。



©Development Bank of Japan Inc. 2021

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

〈お問い合わせ先〉

株式会社日本政策投資銀行 岡山事務所（担当：多治見）
〒700-0821 岡山市北区中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル
TEL：086-227-4311 FAX：086-221-2504